

現代民俗学会 2010年度第1回運営委員会 議事録

日時：2010年4月10日 15:00～18:00

場所：筑波大学人文社会学系棟 B113

出席：及川、岡田、塚原、徳丸、花木、古家、松岡、渡部

1. 研究会

年次大会に関する以下の議事について話し合われた。

(1) シンポジウムについて

パネリストのお二方へは、運営委員長名でお礼状を送付することが確認された。また、パネリスト、司会、コメンテーター全員が揃って打ち合わせを行うことは当日まで不可能な状況であるため、司会及びコメンテーターである島村氏と好井氏に対しては、随時、進捗状況をこちらから報告することが確認された。

(2) 選挙の実施時間について

シンポジウムの流れを妨げないような形での実施することが希望として出された（→選挙については、別途「選挙について」の項を参照）

(3) 第2回サーキュラーの発送期日及び広報活動について

パネリストの要旨が揃い次第、遅くとも22日まではサーキュラーを作成し、会員へ送付することが確認された。また、あわせてHPへの掲示も行う。

今回の年次大会でもPDFの電子ポスターを作成することを確認した。ポスターだけでなく、他学会のサイト等の媒体を使っただけの広報活動も同時に行うことが確認された。広報活動は各自が積極的に行うよう意見が出された。

2. 編集

(1) 雑誌第2号の進捗状況について

『現代民俗学研究』第2号の進捗状況についての説明がなされた。

(2) 第3号のスケジュールについて

第3号の募集についても近日中にエントリーシートの募集を開始することが報告された。今年は昨年よりも1～2ヶ月程前倒しで進めていきたいということであった。

(3) 第3号の内容について

年次大会のシンポジウムについても次号にて特集という形で掲載ができないか、話し合われた。また、第3号については、ドロシー・ノイズ氏の原稿を掲載することが既に決定しており、第2号と比べてページ数が増えることが見込まれる。従って、昨年と比べて雑誌にかかる経費も増えることが想定されることが報告された。

3. 会計

2009年度会計報告及び2010年度予算案について会計担当より説明がなされた。これに対し、他の委員よりいくつか意見が出されたので、改めて会計側で修正版を作成し、それをメール審議することとなった（4月20日を審議期限）。そしてメール審議を経たものを再度運営委員長名で確定版の予算案を出すこととなった。

4. 選挙について

年次大会にて実施する運営委員選挙についての実施案が選挙管理委員会よりなされた。その案について検討した結果、次のような流れで選挙を行うこととなった。

(選挙の流れ)

- ・有権者へは受付の際に投票用紙を配布する。投票はシンポジウムの休憩まで受け付ける。投票時間については、投票用紙に但し書きをするとともに、事前に会員へは選挙管理委員名でメールにて通知することとなった。
- ・シンポジウム後半に開票作業を行い、シンポジウム終了後に再び総会を開き、新運営委員の発表を行う。会長については、年次大会当日中に決定できる場合は決定し、難しい場合は、6月中に第1回運営委員会を開き、そこで新会長を決めることとした。
- ・新委員へは、選挙後に選挙管理委員名で委嘱状を送る。
- ・監査については、午前中の総会にて決定する。ただし、選挙を経て、新監査が運営委員に選ばれた場合は、改めて選び直す。

以上